

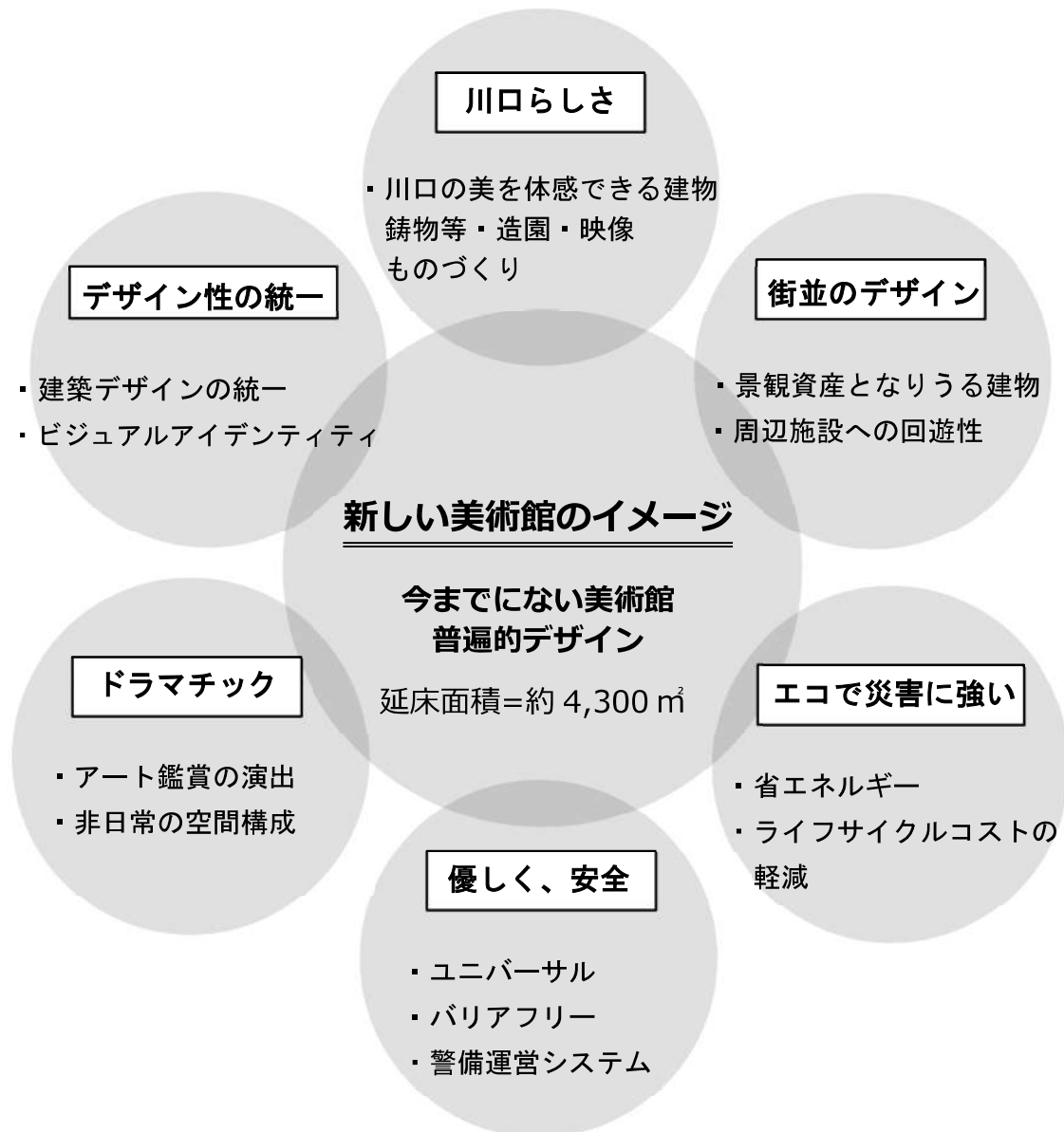
# 第2章 施設計画

## 1.施設全体の仕様・規模

### (1) 施設全体のコンセプト

本施設では将来にわたって市民に愛され、未来の子供たちにも活用されるよう、普遍的なデザイン性を持った建物を検討します。下記6つのキーワードをイメージとします。施設規模は延床面積4,300㎡程度を想定します。

#### ■施設全体のイメージ



## **川口らしい建物**

川口らしさを体感できる場を目指し、ものづくり産業の技術や映像技術を活用した空間デザイン、街の賑わいにつながる演出、歴史ある造園技術を活かした緑溢れるクリーンな建物（盆栽、植木、屋上や壁面緑化等）を検討します。また、外部空間（庭や中庭）などにも自然の要素を取り入れる工夫を行います。

## **街並もデザインする建物**

地域回遊性のある動線を計画します。関連施設（アトリア・旧田中家住宅等）への利便性を考慮します。街並に積極的に寄与する施設づくりを行います。周辺地域を含めた景観デザインやサイン整備を検討し、本市の景観資産の中心となる施設を目指します。

## **エコで災害に強い建物**

省エネルギー性能が高く、環境への影響が少なく、災害に強い建物とします。環境負荷軽減、CO<sub>2</sub>排出削減のための様々な工夫（輻射熱空調、太陽光発電、地中熱利用等クリーンエネルギー利用、高効率のLED照明等）の検討を行います。ライフサイクルコストの軽減化等を実現し、持続可能な施設を目指します。

## **訪れやすくだれにも優しい安全な建物**

だれもが快適に利用できるバリアフリーに配慮したユニバーサルな施設づくりを目指します。音声案内、点字案内の他、海外からの来館者に対応した多言語案内等の設備を設けます。また、開放的なファサードとし、来館者が気軽に入れる工夫を行い、市民が自然に集い交流できる、人に優しい安全な建物を目指します。

## **ドラマチックな建物**

作品をより深く鑑賞するために、建物全体のストーリー性を構築します。展示動線、展示デザイン、照明計画等を工夫し、品格あるドラマチックな空間構成（非日常）を演出します。

## **質の高いデザイン性の統一**

外観から内部諸室（トイレや階段等）にいたるまでデザインの統一を図ります。さらに、シンボルマーク、サイン、色彩計画、各種パンフレット、WEBサイト、名刺等を建物と統一したデザインとしてビジュアルアイデンティティを構築します。美術館の活動イメージを視覚化し、デザインがメッセージとして伝わる工夫を行います。

## (2) 施設全体の構成

延床面積は4,300㎡（約1,300坪）程度の規模を想定します。

今後、敷地等の諸条件をふまえ、基本設計を通じて全体規模の決定、各エリアの詳細な面積配分等を検討します。また、市内の既存の施設を活用し、美術館内の効率的な面積利用を検討します。

### ■市内の既存施設の利用例

**展示室** →アートギャラリー・アトリア  
旧田中家住宅  
(洋館・和室・茶室や庭を利用したアートイベント等の可能性) 等

**収蔵庫** →本市所有施設の改修 等

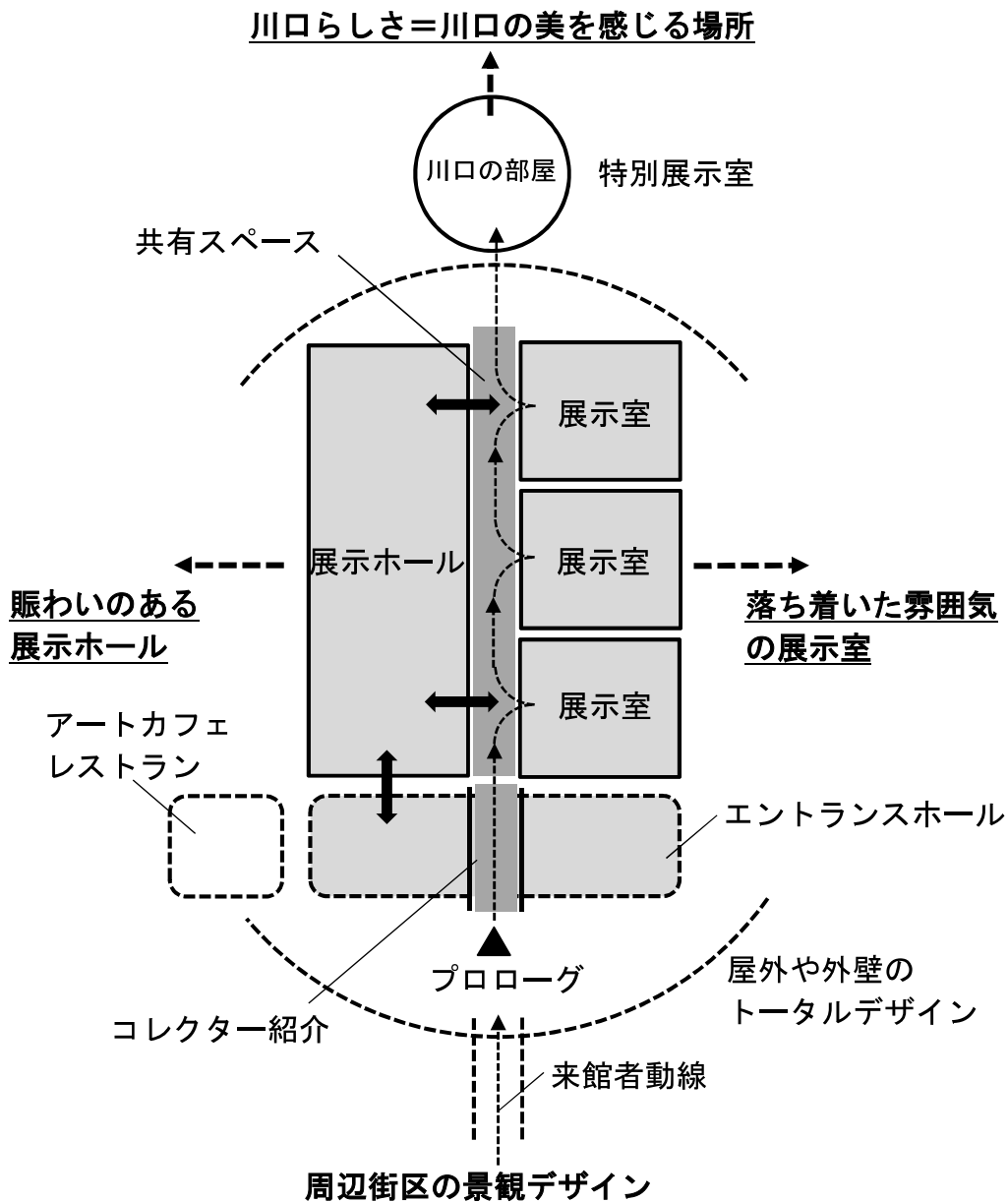
### 各エリアの想定規模

<u>アートエリア</u>	<u>約1,750㎡</u>	(展示室 約1,100㎡)
<u>ものづくりエリア</u>	<u>約200㎡</u>	
<u>イベントエリア</u>	<u>約1,150㎡</u>	(展示ホール 約700㎡)
<u>その他共用部</u>	<u>約1,200㎡</u>	
<u>合計</u>	<u>約4,300㎡</u>	

## 2. 展示動線シーケンス

来館者は周辺街区の景観デザイン、エントランス、プロローグを経て、展示室、展示ホール、そして川口の部屋へと至る統一したデザインの空間のシーケンスを体験します。それぞれの空間は特徴ある雰囲気を持ち、本市のアートを体感するドラマチックな構成を構築します。

### ■ 展示動線（イメージ）

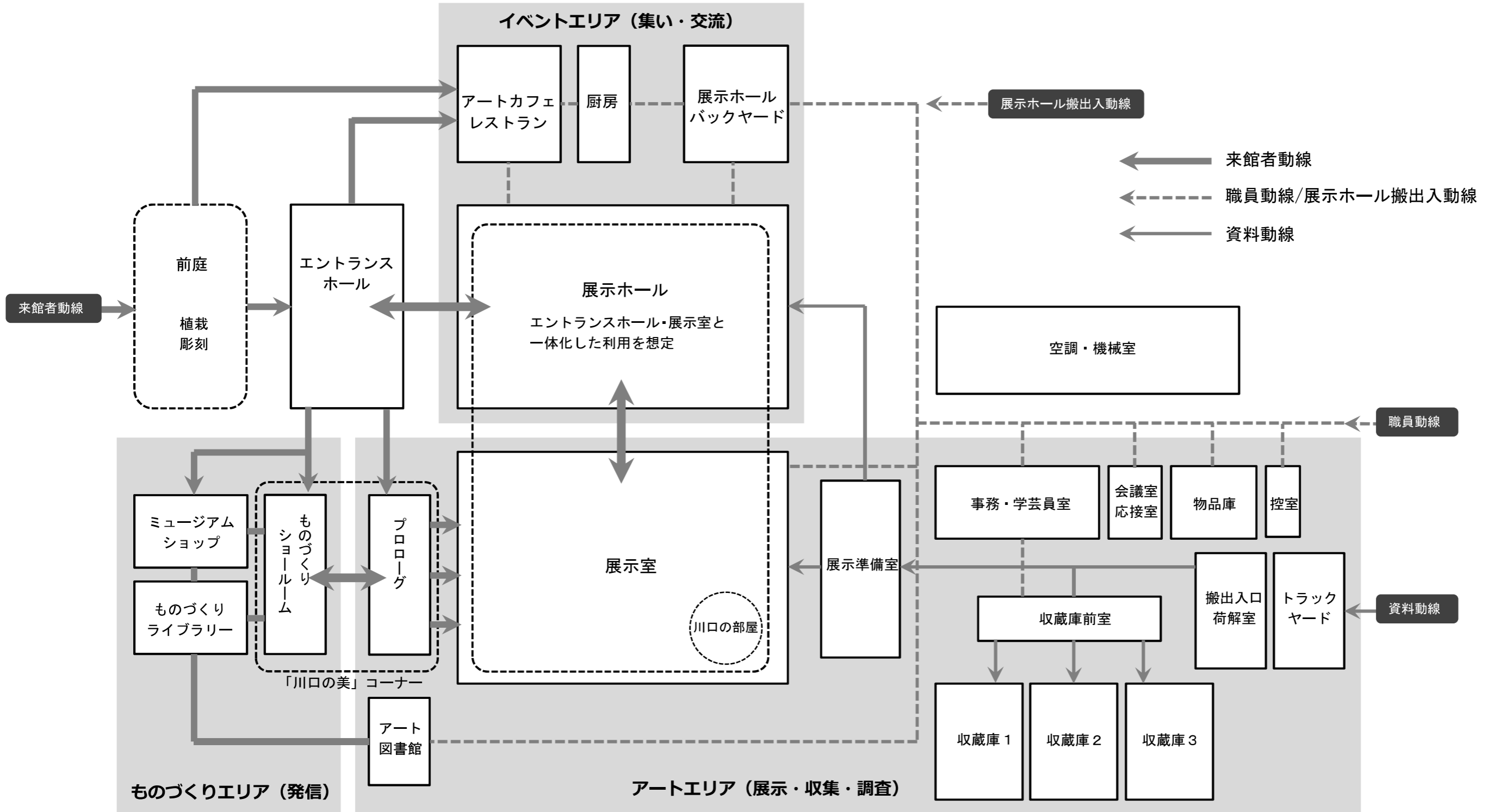




### 3. 動線計画

主要な動線として、来館者動線、職員動線、資料動線、展示ホール搬出入動線があります。  
効率的な動線計画を検討します。

#### ■機能構成・動線計画（イメージ）







## 4.必要諸室一覧

エリア	公開 非公開	無料 有料	活動	室名	用途	必要機能	規模 (参考)	
アート	非公開		収蔵 保存	トラックヤード	作品の搬出入	搬入用トラック（4tを基準）を収納。排気ガス処理の換気施設を設け、外気の流入に注意（シャッターの設置等）。虫菌害を防ぐため他の搬出入口（飲食物・ゴミ等）とは区画する。	約 500 m <sup>2</sup>	
				荷解室	作品や資料の開梱・梱包を行う	トラックヤードからエレベーターに至る動線に配慮。十分な広さを確保。		
				収蔵庫前室	収蔵庫に搬入する資料の点検 温湿度調整室	収蔵庫と同レベルの恒温恒湿を保持する空調設備、消火設備、収蔵庫扉を設ける。 資料の撮影。		
				収蔵庫	収蔵資料・寄託資料の保管	洋画・日本画・借用資料等の収蔵。恒温恒湿を保持する空調設備、消火設備、収蔵棚を設ける。		
				調査 研究	物品庫	事務機能のための倉庫	集密書架を検討。	約 150 m <sup>2</sup>
					職員控室		職員・監視員の休憩室・控室（更衣室）・給湯室。	
					事務・学芸員室	事務職員・学芸員の執務室	開放的なスペースとし、効率的な面積利用率を考慮。 館長の執務室も含む。	
					会議コーナー	職員のミーティングスペース	応接室の機能を備える。	
		公開	無料	展示 公開	プロローグ	川口の「美」の紹介	川口の歴史や風土、美術館の成り立ち、アーティスト、コレクターの紹介。 エントランス、ものづくりエリアとの動線に配慮。	約 1,100 m <sup>2</sup>
			有料		展示室	所蔵資料と借用資料の展示公開 (800 m <sup>2</sup> 程度)	様々な作品、展示スタイルに対応できるよう十分な天井高、床強度を確保。日本画資料には展示ケースを設ける。 温湿度管理空調設備、消火設備を設ける。	
		非公開			川口の部屋	特別展示室	川口のものづくりに関連した作品の常設展示。 温湿度管理空調設備、消火設備を設ける。	
					展示準備室	展示準備の作業	展示のための什器、備品の保管。 展示室との動線に配慮。	
ものづくり	公開	無料	創造 支援	ショールーム	川口のものづくり紹介	プレゼンテーションルーム、マッチングカウンター、産業コーディネーター執務コーナー。 展示のプロローグとの動線に配慮。	約 200 m <sup>2</sup>	
			情報 発信	ミュージアムショップ	ミュージアムショップ	オリジナルグッズ等の販売を行うミュージアムショップ。展示什器。 エントランスホールとの動線に配慮。		
			ものづくりライブラリー	情報収集・発信のライブラリー	リファレンスコーナー。 アート図書館との動線に配慮。			
イベント	公開	有料 無料	交流	展示ホール	多目的利用可能なホール (700 m <sup>2</sup> 程度)	温湿度管理空調設備、消火設備、音響設備等コンベンション機能を備える。分割利用可能。平土間（天井高7m以上）。 展示室、エントランスホール、アートカフェ・レストランとの動線に配慮。	約 1,000 m <sup>2</sup>	
				バックヤード	展示ホールの倉庫・控室	椅子、テーブル等展示ホール備品を収納。関係者控室。		
	非公開		集い	厨房	アートカフェ・レストランの厨房	展示ホール使用時のケータリングのサービス機能。	約 150 m <sup>2</sup>	
				アートカフェ レストラン		アート作品、ものづくり作品の展示。周囲の眺望を考慮し配置を検討。 外部からの動線に配慮。		
共用	公開	無料		エントランスホール		館内案内・発券カウンター・ロビー・ロッカー等を設ける。 開放的に作り来訪者の動線を促す。	約 200 m <sup>2</sup>	
				トイレ・授乳室 救護室		多機能トイレ（車いす対応）を含む。	約 1,000 m <sup>2</sup>	
	公開 非公開			廊下・エレベーター 機械室		搬出入用エレベーター。 バリアフリーに対応。		
必要床面積							約 4,300 m <sup>2</sup>	

